

# たんばりんぐ



食の安心・安全の拠点に（いちじま丹波太郎）

目次

本格的な組織機構へ……………	2
請願のゆくえ……………	4
一般質問 19人が登壇、市政をただす…………	6
委員会報告……………	16
市民の投稿／編集後記……………	18

2005.8  
第3号

# 本格的な組織機構へ

## 31人が勧奨退職

6月定例会を6月3日から23日まで21日間開催しました。その中で、17年度補正予算第一号の審議、13条例の審査、請願の審査、意見書の採択などを賛成多数で可決しました。議会は一般質問を含み、行政改革の実行を厳しく指摘してきました。また、当局も早急な改革実行の必要にせまられ、総務部を中心に業務内容や支所機能を見直し、45歳より勧奨退職を募ったところ、31名の職員が応じられました。

今後の改革は、行政改革検討委員会の提言を受け、行政改革大綱により実行されます。

### ●本会議の質疑

#### 支所機能の低下を危惧

職員定数条例の一部改正

**問** 組織条例改正について、支所に業務管理係がなくなり、建設・土木事業など取り次ぎだけとなった。また、支所長は部長であつたが課長になり、

権限が低下する。「支所は地域の核として機能し、地域分散型の合併をし、住民に不便をかけない」と説明し、合併への同意を得てきたが、市民を裏切ることにならないか。

**答** 市民生活に関係のある窓口業務は支所であり、合併後、地域のみ

なさんに大きな迷惑をかけたことはなかったかと思われま。

**問** 納税相談、乳幼児健診、ごみの問題、農会、土地改良などで多数の住民が困り、私たちも相談を受けた。

新組織は支所の機能がさらに低下し、市民の声が届きにくくなるのではないか。

**答** 健診や納税相談は出向いてし、問題点は改善していきます。また、支所にあげられた地域住民の声が部長、市長に届くよう努めます。

**問** 支所の業務や人数を減らさず、市民に不便をかけないようにするのが合併効果ではないか。

合併協の基本を守るのか、変えていくのか。



△機能の低下が危惧される支所内部

**答** 現在の状況は財政にしても想定できなかった状況です。合併協の原則は守りますが、現在の状況に対応するため行革し、組織改革しました。

### 行政改革と市長の姿勢は

給与及び養子に関する条例の一部改正

**問** 行政改革のため、31人の勧奨退職を実行し、今後200人ほどの職員減をするといっておきながら、今回の市長給料の5%引き下げは思いが軽いのではないか。

また、5役を見直してはどうか。

**答** 首長、助役、収入役は6町で18人いましたが5人になりました。しかし、職員の身分の保障は協定項目であつたので改革していませんでした。今回31人の職員が勧奨退職に応じてくれました。市長給料の5%カットは

## 退職される部長へのあいさつ

議長 山本 忠利



各部長さんは、合併直後の混乱期に、それぞれのお立場で、長年培われてきた行政経験を基に、積極的かつ適切に対応いただき、新生丹波市の礎を築いていただきました。

今回の退職は、丹波市行政改革の一環でもあり退職勧奨によるものであります。「丹波市の将来のため」、「後進に道譲るため」とは言え、みなさま方の苦渋の決断に、議員一同、衷心より敬意と感謝を申し上げます。

今後は、みなさま方の英断に報いるよう、議員一丸となって取り組んでまいります。

みなさまの行政経験は、丹波市の大切な財産であります。退職し、一市民となられましても、丹波市政や議会に変わリませぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

後になりましたが、お一人お一人のご活躍とご健康を心より、ご祈念申し上げます。丹波市議会を代表しまして、お礼のご挨拶とさせていただきます。

本当にありがとうございました。

**問** 税などの未収金が10億円もあり、税について

### 10億円の未収金対応は

収納対策課の新設

は、5年たてば不納欠損となる。これは市民に不公平感を募らせ、財政的にも大きな損失である。どうするの。

**答** 収納対策課を新設し、焦げ付いているすべてに対応します。調査し、法に基づき、差し押さえも辞さない対応をしていきます。

### 青垣町民センターの追加工事は

工事請負変更契約の締結

**問** 本工場の落札価格は

予定価格の99・1%で、ほぼ満額に近く、さらに4084万円もの追加工事を新たな入札もせず、同じ会社と随意的契約をしている。変更による追加

加工事の場合は1億や2億でも随意的契約をするのか。

**答** 建物自体の工事なので変更契約の方が効率的と判断しました。変更による追加工事とするか、新たな工事請負として入札するかは工事内容によると考えます。

**問** 総事業費が17億4709万円となるが、これ以上の追加はないか。

また、植栽は本体工事に入っているのか。別枠で考えるなら、市内の企業へ発注を考慮されたい。

**答** 今後、外溝などの工事が残っています。植栽が本体と分離できる工事なら、市内業者に配慮して執行していきます。

### その他の議案

- 福祉医療費助成条例の一部改正
- 国民健康保険特別会計補正予算
- 柏原町下町沖田コミユニティセンター条例の制定
- 同指定管理者の指定
- 柏原町役場庁舎改修工事請負変更契約の締結

### 17年度補正予算

第一号の主なもの

- 基金積立金 1億5900万円
- 退職手当組合負担金 3116万円
- 土地(歌道谷)購入費 3200万円
- 障害福祉費 1199万円
- アフタースクール 677万円
- 母子保健費 456万円
- 塵芥処理費 502万円
- 土地改良補助金 500万円
- 林業振興費 林業施設費 3392万円
- 学校管理費(小学校) 780万円
- 幼稚園費 425万円
- 災害復旧費 1500万円

自動車解体工場建設に関する請願

この請願は、丹波市春日町松森で進められている自動車解体工場建設に反対するものであり、竹田川漁協の安達勝三組合長を請願代表者として、1462名の署名をもって出されました。所管の民生常任委員会で審査を重ね、委員会、定例会議とも採択には至りませんでした。

反対討論

竹知正明議員

①この計画は旧町るときに申請されたもので、農業委員会や周辺地域の環境保全は検討された。②隣接地の区長などへ環境衛生の保全維持、危機管理体制の計画が出され

て、次の意見書を提出しました。

賛成討論

荻野拓司議員

請願審査の過程でも、「地元説明も十分ではなく、旧町の時の手続きも書類上で、拙速に行われた」というのが関係者の声であった。現場を見ても「何もこ

③工場建設の許可は県に

自動車解体工場の建設に関する意見書

丹波市春日町松森地内で建設中の自動車解体工場の設置について、竹田川流域の地域住民から建設に関する説明会がなく不安を抱えているという苦情が寄せられております。

許可権者である兵庫県は「自動車リサイクル法」ならびに「緑豊かな地域環境の形成に関する条例」「産業廃棄物処理施設の設置に係る紛争の予防と調整に関する条例」等に基づき、事業者に対して、関係隣接地域等の住民不安を解消するために、十分な理解を得られるよう誠意ある「説明会」を開催すべく、強力に指導をされることを求めるものです。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

平成17年6月23日

兵庫県知事 井戸 敏三殿

兵庫県丹波市議会  
議長 山本 忠利

んなすぐ川の傍に建設しなくても」と誰しも感じたはずで、下流域には多くの人が生活し、耕地が広がっている。行政の業者への事故に備えた指導監視にも限界がある。議員の立場から請願に賛成する。

賛成討論

西本嘉宏議員

県や市などからの指導にも関わらず、事業者から説明会の開催はまだ開かれておらず、これだけみても、事業者の態度は不誠実極まりないものである。これでは住民の将来にわたる不安が募るのも当然である。事業の許可権は県であっても、市は、市民の意見をまっすぐに県に伝えるべきであると考える。よって本請願に賛成する。

就学前幼児保育の補助に関する請願

この請願は、丹波市市島町で、幼稚園のない地域の5歳児の保育料の減免を求めるものです。丹波市市島地域の5地区自治振興会長および3保育園保護者会長ほか、1610名の請願者から出されたものです。所管の民生常任委員会では全員の賛成、また、本会議では賛成多数（反対7人）で採択されました。

反対討論

田口勝彦議員

合併による事務の一元化の調整により保育料の統一が行われた。このことは、合併協議会でも協議をしてきた。

この請願を採択すると他の地域の問題点も浮上してくる。

この採択については、請願の主旨からしてもなじまないものとして反対する。

賛成討論

荻野拓司議員

丹波市になって保育料が統一の方向で進むことについては一定の理解を

春日IC周辺活性化事業

大幅に修正した計画を可決

旧町で進められてきた春日インターチェンジ周辺活性化施設整備事業に対して、議会では、事業計画の見直しや経営にか

重ねてきました。修正された計画案を了承し、道の駅「かすが」建設工事請負契約を6億2790万円で締結することを可決しました。

事業計画の主な変更内容は、レストラン、多目的ホール、資料館を見送ること

ことで2億7809万円削減し、特産館や農産物加工処理施設、簡易パーキングなどの事業費総額は、用地代を含め14億7895万円です。



△地域活性化の拠点に(道の駅「かすが」建設予定地)

また、市は会社へ役員を派遣せず、原則として経営費の赤字補填もしない。さらに、運営方法を地域主導型

丹波市「市民安全部(仮称)」新設について

この請願については、丹波市防犯協会他4団体から提出されたものです。総務常任委員会で審査

を重ね、また、すでに市民安全部を設置している小野市の状況調査もしました。

「是」とするのが妥当と考える。そのことからすると、同じ5歳児ながら保育負担に大きな格差があるのは不公平と言わざるを得ない。

今、全国で色々な方法による幼保一元化が検討されている。合併したからといってすべて統一できる問題でなく、地域の実情に合った施策が大切であり、請願に賛成する

30人以下学級実現に関する請願

総務常任委員会および本会議で全員の賛成で採択され、政府等関係先に意見書を提出しました。

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する請願

市は7月1日実施の行政機構の見直しで「市民安全課」を新設しましたが、広大な面積を有し、生活基盤組織も多いためから生活安全課の業務状況の推移を見ていく必要があるとの結論に達しました。審査は継続することとしました。

の農事組合法的な方向に転換し、収益が少なくても運営可能な経営形態をめざすとしています。

市の支援は、農業振興上の施策、また、商工観光事業の側面的な支援を行うこととしています。

今後、この施設が、市の農業振興と地域活性化の拠点施設として利活用が図られることが期待されます。

●春日IC周辺活性化施設(道の駅)の主な整備計画

地域振興施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>農産物直売施設 延床面積298㎡</li> <li>農産物処理加工施設 延床面積378㎡</li> <li>駐車場 大型車3台 小型車60台</li> <li>出合いの広場 1,590㎡</li> </ul>
遺跡公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺跡公園 12,770㎡ 芝生広場、発掘体験エリアなど</li> </ul>
道の駅(簡易パーキング)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公衆トイレ、情報発信コーナー 建築面積408㎡</li> <li>駐車場 大型車10台 小型車30台 障害者3台</li> </ul>

# 一般質問

— 市政をただす —

## 6月定例会

丹波市第3回定例会で19名の議員が一般質問を行い、安心安全な町づくり、行財政改革、治水対策、発達障害者・児の支援、畜産共進会の対応、公聴機能を持つ窓口の設置、若者の定着、ごみ問題、地球温暖化、介護保険制度の見直し、乳幼児医療費値上げ反対、コミュニティづくりの拠点、子育て支援、職員の退職勧奨などについて市長の考えをいただきました。



### 子ども110番のステッカーを

— 全公用車に貼付

田坂幸恵議員

**問** ここ数年、小学生などを狙った犯罪が多発している。公用車の車体に「子ども110番」を表示したステッカーを貼る公用車が全国的に増加している。子どもは地域の宝です。不審者から守るには、子どもの目線に立って、子どもたちを見守る体勢作りをするべきではないか。

**答** 丹波市発足後、取組みが遅れていましたが、現在「子どもを守る車」のステッカーを準備しており、6月中には全消防車両を除き、教育委員会所有の53台をはじめ市の公用車330台全車両に貼付けます。

### 危険ため池に防護柵の設置を

**問** 子どもの事故の大部分は予防可能ではないか。丹波市内には、危険なため池はいくつもある。子どもの生命を守る安全対策として危険ため池の防護柵の設置をするべきか。

**答** 丹波市内には、農業用ため池が大、中、小あわせて269箇所あります。市は、ため池の管理責任者が防護柵などを設置する場合に、補助制度などの検討をしたいと考えています。



△子どもを守ろう



### 行財政改革の課題は

— 行革は行政と市民の意識改革で

足立 修議員

**問** 会派「市民クラブ」を代表して質問をする。危機的な財政状況にある丹波市の行財政改革は、民間企業なみの手法で徹底した厳しい改革をしなければ財政は維持できない。組織機構を効率化し人員を適正に配置して人件費の削減を図る。一人ひとりの職員は、行革とは何かを常に考え、費用対効果を認識しなければならぬ。

**答** 今秋を目途に行革大綱を策定し、重点的に集中で、行革は、ただの財政見直しではすまされな

い。市民の自治能力を限りなく発揮させる行革レベルアップすべきである。また、施設資産は指定管理者制度などを活用して効率化します。合併は行革の最大の手段であり、合併のメリットを活かす行革をすすめます。



### 事務事業一元化の見直しは

— 一元化は新市のメニュー

藤本正巳議員

**問** 市民サービスの低下と受け止められている人が多い原因は、事務事業の一元化で縛りをかけているからだ。予測（合併協）と現実（新市発足後）の差がある。見直していく考えはあるか。

**答** 一元化とは、旧町のサービスの継続、拡大、縮小ではなく、新市として適性に応えられるかという調整であり、65歳以上2万余名の対象者にと

ようなサポートができるか財政状態を鑑み、新市のメニューとしました。今後点検を加えていかなければなりません。健診については医師会、歯科医師会と協議し決定しました。健診も毎月とし利便の向上が図られたと考えます。時間がかかると判断するときは2名体制で対応していきます。

旧町からの引継ぎ事業の見直しや、膨大な施設資産の有効活用を図り、市政のスリム化が必要である。



△丹波市指定管理者制度第1号 あおがき農産物等加工直販施設

活力あるコミュニティをめざし、「地域でできることは地域で」という住民自治の基本を確立しなければならぬ。人口減少社会を迎える





### 行政運営の抜本的な改革を

新しい発想で新しい町づくりを

田口勝彦議員

**問** 合併から早や7ヶ月過ぎたが、合併に対する市民の評価は芳しくない。福祉や住民サービスなど行政全般にわたり「不満」を耳にする。

市長はこの声を払拭するために市政の根本理念をふまえ、行政運営の抜本的な改革に積極的に取り組んでいただきたい。

その手法として「回転すし」の仕組みも参考にしたい。

つまり店の中がひと目で見渡せる「情報の公開」価格はお皿で一目瞭然で「説明責任」を果たす。また客の好みで献立を選ぶ「選択の自由」がある。この3つの手法をフル活用して推進すべきである。

**答**▶ 回転すしの手法は、まさにそのとおりです。

基本的な考え方は同感です。今後、新しい町づくりの組織も見直し、変更して、新しい発想で町づく

くりを考え直し、計画的に改革を進めるとともに、実践しながら財政の安定化に努めていきます。



△新設された「収納対策課」



### 治水促進と樋門の自動化を

治水対策は推進中、自動化は県と協議

足立鉄男議員

**問** 氷上町東地区西部地域の治水対策はどのように進められているのか。樋門開閉の自動化、通信による集中管理システム、スクリーンごみ除去の自動化はできないか。

**答**▶ 治水は最重要課題の一つとして、県に応急対策とともに効果的浸水対策の検討、早期の事業実施を要望しています。

樋門開閉とスクリーンごみ除去の自動化、通信管理システムの構築は県と協議します。

### 行革は数値で市民に判る取り組みを

**問** 行革の手順は中長期財政計画を立て、行革の基本設計をして行革大綱に基づき各施策の数値目標を掲げた実施計画が必



▷樋門の自動化を

要である。さらに、計画を市民に提示して全員参加で推進し、その成果が財政にどのように反映され、市民にどのように還元されたか公表して取り組むべきと思うがどうか。

**答**▶ 行革大綱、行革実施計画を策定中であり、数値で表示することが必要と考えています。「行革検討委員会」を設けるとともに、「行革評価システム」を導入して取り組みます。



### 発達障害者・児の支援策は

県の機関と連携し質の向上を

平井孝彦議員

**問** 発達障害者支援法が施行され、自閉症、アスペルガー、注意欠陥多動性、学習障害などの発達障害に対して、乳幼児健診での早期発見、療育、家族支援、教育、就労などライフ・ステージ別支援の体制は。

**答**▶ 乳幼児健診には、心理判定員を配し早期発見に努め、発達に遅れがある児には、療育や家族に育児支援を行い、専門機関へ紹介をしています。児童・生徒については、各教育機関と連携し、ひかみ障害者・児支援センターや学童保育などで受入も行っていきます。

また、個別のニーズに合った特別支援教育への転換と国・県の支援機関の指導を受け、関係職員

### 保健・福祉の拠点づくりは

**問** 氷上保健センターに障害者の生活支援の場所として、市内の公の施設に福祉喫茶店、作業所や手づくり商品の販売展示など障害者同士のよりどころとして、生きがいと

社会参加につながる場は設けられないか。

**答**▶ 子供から高齢者までの地域保健施設として充実を図ります。障害者が集い、情報交換の場所は大切だと考えています。障害者の夢と希望が膨らませられるよう努力します。



△障害者の社会参加の場に



### 県畜産共進会の対応は

10月に丹波市で開催

近藤良雄議員

**問** 県畜産共進会が10月に決定しているが、場所が未定と聞く。何とか早く決定され、JA丹波ひかみと共に、丹波市畜産振興のため一大イベントとして対処願いたい。

**答**▶ 場所については、過日土地取得で承認いただいた、市内春日町歌道谷で開催します。早速、関係機関と調整し、特に全農兵庫県本部の指導をいただきながら実行委員会を立ち上げ、所期の目的達成のため、鋭意努力します。そして、丹波市の畜産指導とともに、丹波市ブランドを県下にアピールしたいと考えます。

### 堆肥の処理料助成は

**問** 耕畜循環型農業の支援策について、和牛堆肥

の処理料助成はできないか。

**答**▶ 「家畜排泄物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」が昨年11月1日から施行されました。住民の環境意識の高まりの中で、家畜排泄物の適正な管理体制を確保する中で、堆肥として有

効活用を図るため、17年度補助事業として、土づくり対策事業を立ち上げました。ご指摘の処理料助成につきましては、簡易堆肥バックシステムの利用の状況や費用負担の推移を把握した上で、今後検討してまいります。



△10月には丹波市で盛大に開催を



### 公聴機能を持つ窓口設置を

心の合併室を設置

山下栄治議員

**問** 地域がいきいきと機能し、住民の福祉が増進することは、地域社会の重要な課題である。少子化と重なり将来に対する不安も解消されないまま、進行している地域もある。そんな現状の中で、地域団体の活性化や、魅力ある村づくりのため積極的に住民主導で活動している団体もたくさんある。そのような団体に対して、公聴機能を持つ窓口を設け、意見や要望を直接受け付け、公正・中立な立場で関係各課に連絡を行い、その解決の実現を促進していくような支援が必要なのではないか。

**答**▶住民主導で活動している団体では、市内各地で様々な分野で行われていることは承知しています。地域がいきいきと機能することは、市の発展につながる大変重要な要素であることも認識しています。

合併後は、住民主導の団体などが積極的に市政に参加していた、だくことが求められています。市は側面から支援していくためにも、新たな組織として、企画部に、「心の合併室」を設置して、新設された「心の合併室」



△新設された「心の合併室」

**問** 新規事業の「市民交流促進事業」はできるだけ多くの市民が利用し、市民に特産物を知ってもらうことや、消費や住民交流などに活用し、地域のよさを内外に発信していくことが必要だ。秋の行楽シーズンや収穫祭に備え、市民がもっと交流できるよう、交流バスが市の施設以外のイベント、祭、観光施設へ行けるよう条件緩和することやイベントの日程調整も必要なことではないのか。

**答**▶この事業は市民に市内を見学していただき、住民交流と郷土愛の高揚で「心の合併」を促進し、バス借上料の一部を補助する事業です。8月、9月実施分については追加募集を行います。今後事業でのアンケート

トや市民の皆様のご意見を伺い、内容も改善的に検討し、参加や利用が増えるようにすることが大事です。このような事業をし、PRに努めることが若者の定着に結びつくと考えます。



△イベントで市民交流の促進を

### 市民交流促進で若者の定着を

参加や利用が増える対策を

竹知正明議員



### ゴミ処理施設の整備の対策は

環境適応型の廃棄物処理施設を

瀬川 至議員

**問** 平成23年度までに本市のゴミ処理施設整備を図る必要があるが、ゴミを解決するためには世界に目を向けて考える必要があると思う。環境先進国といわれるドイツにおけるバイオマス、バイオガスなどによるエネルギー再生を考えたゴミ処理施設の研究・検討をすべきではないか。

**答**▶新施設建設にあたっては、市民の皆様が利用しやすい体制づくりが必要で、自然の力を利用したり、今まで使わずに捨てていたエネルギーを有効に使ったりする地球に優しいエネルギーの利用など、21世紀にふさわしい環境適応型の廃棄物処理をめざし取り組みます。

**問** 平成23年度までに本市のゴミ処理施設整備を図る必要があるが、ゴミを解決するためには世界に目を向けて考える必要があると思う。環境先進国といわれるドイツにおけるバイオマス、バイオガスなどによるエネルギー再生を考えたゴミ処理施設の研究・検討をすべきではないか。

**答**▶本年度に「地域防災計画」を制定する予定で、すすめています。防災行政無線は、生命・財産を守るための情報伝達の第一手段と位置づけています。



▷丹波市全体のゴミ対策を



### 合併による変化の兆しは

17年度の予算に反映

足立正典議員

**問** 合併をして半年以上が過ぎ、市民から様々な意見が出ている。合併のメリットとして強調された点は、充実し変化があるのかを検証をする時期と考えるが市の対応は。

**答**▶合併協定項目を含め、新市としての取り組みについての検証は17年度予算を執行していきながら判断していきます。

**問** 合併をして半年以上が過ぎ、市民から様々な意見が出ている。合併のメリットとして強調された点は、充実し変化があるのかを検証をする時期と考えるが市の対応は。

**答**▶本年度に「地域防災計画」を制定する予定で、すすめています。防災行政無線は、生命・財産を守るための情報伝達の第一手段と位置づけています。

### 専門職員の配置は

**問** 多様化する市民のニーズに対する専門職員の配置については、専門的な知識・経験などを有する者を任期付き職員として採用し、行政の高度化、専門化に対応してはどうか。

**答**▶救急常駐所の整備に伴う職員など、専門職員

**答**▶地方の権限と責任の拡大である分権の観点から、税財源の充実には積極的な取り組みが必要で、

### 農業の総合計画の策定は

**問** 新たな食料・農業・農村基本計画による市の



△丹波市の将来構想は

農業の指針となる総合計画を策定してはどうか。  
**答**▶市の農業振興施策の基本となる「丹波市農業振興基本計画」は18年度認定を周到に準備を進めています。



### 温暖化防止と資源循環を

市民・事業者と一体になつて

田村庄一議員

**問** 温暖化防止へ日本は14%ものCO2排出減という大変な努力が求められている。市としての今後の対応は。

**答** 現在エコスタイルや節電等に取り組んでいます。今後、行動計画指針を示していきたいと考えています。

**問** 勤奨で部長など31人の退職が決まったが、有能かつ必要な人材まで失うことにならないか。また、職員の育成に力を注

### 管理職の登用試験を

ぎ、管理職登用試験を実施すべきではないか。

ように、人材育成の重要性は深く認識しており、人事考課制度の早期確立を進め、昇任試験制度についても研究・検討を行っていますところですが、

「菜の花プロジェクト」が全国に広がっている。市内でも女性団体が廃食油再生のエコ石鹸やBDF製造にも取り組んでおり、連携して推進すべきではないか。



△温暖化防止の効果も期待できる菜の花



### 介護保険充実と負担軽減を

第3期計画の策定で

西本嘉宏議員

### JRに安全対策の申し入れ

### 憲法と第9条の考え

**問** 新型ATSの設置、踏み切り安全対策、無人駅の安全対策など申し入れるべきであるかどうか。

**問** 改憲の動きがあるが、市長は教諭経歴をとおして憲法と第9条についてどう思うか。

**答** 5月6日、議長と共にJRに申し入れたが、ご指摘の内容についても要望手続きを進めます。

**答** 憲法9条は平和主義を具体的に規定され平和憲法と呼ぶ由来です。見解は差し控えます。



△丹波市介護保険事業運営協議会(春日庁舎)

**問** 5年目の見直しで国会で審議されているが中身は、要支援と要介護1の介護サービスの切捨て、利用料の大幅値上げなど社会保障制度の根本にかかわる問題となっている。市の特別給付の今後の取り組みは、低所得者層の保険料、利用料の減免制度はどうか。

**答** 市は第3期の事業計画の策定作業を進めています。この中で課題や問題点を明らかにし、計画をつくりまします。利用料・保険料の減免についても国の法整備により進めていきます。

独自の特別給付は現在、介護用おむつを支給していますが、第3期計画で明らかにしていきます。



### 乳幼児医療費の見直しを

内部で課題を検討

木戸せつみ議員

**問** 「あなたが生まれてきたことが、ただありがたくうれしくて、ママはね、あなたが好きでたまらない」(鹿沼景揚作)

世の親たちはこのような思いで子育てをしているが、一番心配なことは子どもの病気や事故である。しかし、市は県の福祉医療費改悪の条例をそのまま運用し、乳幼児などの医療費を値上げする。私はこれには絶対反対であり、市としてなにか対策を講じるべきだと思

福祉医療は県の要綱に準拠すること確認され、今回の改正を行うものです。今後の施策展開は内部研究を行います。

基本法」は地方公共団体に施策の策定と実施の責務を求めている。総合的に実施するには条例を制定する必要があると考え、市の対応は。

### 条例の制定を

「男女共同参画社会

**答** 男女共同参画センターを設置し、調査、検討します。



△受診を待つ乳幼児

**答** 合併協定項目として

6歳までの医療費を無料にするべきと考える。ちなみに丹波市の周辺市町は3歳か、6歳までの医療費は無料である。



### 公有財産の管理と処分は

評価の低いものは処分の対象に

小寺昌樹議員

**問** 建物や土地の総点検をし、事務・事業の再編、整理、廃止、統合、民力の活用など勇気ある英断を期待するが考えは。

活かしたい。経常経費の抑制に、見直しや改善が必要で、契約期間や内容を精査し、適正な業務をめぐらします。

### 負担金・補助金の監査を

負担金、補助金は市民の平等性、公平性、将来性を考慮し、補助制度

**答** 補助制度を設け、公平な交付と効果ある活用に努めます。負担金は常に適正であるか監視していきます。

### 委託契約の内容精査を

**問** 多額の委託料は、多くの部署・施設などから継続的、多岐にわたり発生しており、委託契約の内容精査の検討に意義があると思うがどうか。

**答** 施設等の管理は直接管理と、指定管理者制度に振り分け、民間活力を



△解体撤去予定の「青垣学びの館」



### 北地区にコミセンの設置を

既存の施設の活用を

小山欣弥議員

**問** 地域コミュニティサポート事業の活動拠点として利用できる施設のない所の対応はどのように考えているか。

**答**▶現在山南地域を除く21小学校区のうち12校区に、地域コミュニティ活動推進員が設置されています。

**問** 活動拠点の整備についてはすでに対応できませんが、まず既存の施設の活用ができないか検討します。

**問** 氷上地域の北地区にはコミュニティセンターの建設用地が確保されており、センターが建設されればコミュニティづくりの拠点のみならず、様々な活動の場として大いに期待ができる。市長の考えは。

**答**▶コミセンの設置については旧町から事務引継ぎを受けており、地域の方々と相談し検討する。

#### 市の資産を広告媒体に

**問** 新たな自主財源確保策として、市の様々な

資産を広告媒体として活用する考えはないか。  
**答**▶広報誌などの広告掲載については、行財政改革のなかで検討します。



△北地区にコミセンを



### 国づくりは人づくりから

幼保一体化は幼児と保護者の視点で

前川豊市議員

**問** 国は中央教育審議会の「子供を取り巻く環境の変化を踏まえた、今後の幼児教育のあり方」の答申をもとに、文科省と厚労省が一体となって、就学前の子供の教育・保育を一体的に行う総合施設のモデル事業を実施している。

**問** 市教委の内部組織において「幼保一体化検討委員会」を設置したが、単に経費削減や園児集めの手段でなく、人づくりは国づくりとして、真に子供の視点で、地域にあった組織で検討すべきだ。

**答**▶市では教育委員会と保健福祉部・財務部が合同で、就学前教育と保育を一体として考え、一貫した総合施設のあり方を、幼児と保護者に視点を置き、地域の取り組みも考

慮し、まず内部で検討します。その後専門家や関係者の意見を聞く場も検討します。

#### 「県民緑税」を生かした災害に強い森づくりを

**問** 県は来年度から年間800円の県民緑税を徴

収し、森林整備と都市緑化事業を進める。丹波は昨年の台風で大きな被害を受けた反省にたち、この税を生かして災害に強い森づくりの取り組みを進めるべきだ。  
**答**▶県の指導を受けながら、森林整備の取り組みを進めます。



△かいばらチビッコ祭



### 地域合意の子育て支援を

関係住民の理解と協力で

高橋信二議員

**問** 丹波市立の保育園と地域の法人立の間に施設の維持管理、職員の待遇、園児の条件等差はないか。地域法人立の保育所を将来どうするのか。

**答**▶保育所施設運営費補助金と増改築等施設整備費補助金を制定し支援しています。将来的には少子化、地域需要を考慮し、公立の統廃合、公設民営化など、早期に方向性を示します。

**問** 小学校区内に幼稚園のない所を今後どうするのか。保幼一元化は。答▶希望者には幼稚園へ通園できる方策も検討し、幼保の一体化は市島地域の保育園の取り組みも一つの方法として着目、検討会で議論します。



△美和保育園マーチングバンド(三ツ塚子育てフェスタ)

**問** 市立のアフタースクールと地域が頑張っている「ふれあい教室」の間に格差がないようにするべきだ。あずかり保育をやっていない幼稚園の今後は。

**答**▶それらの間に大きな格差がないよう、今回ふれあい教室の補助金の一

部を見直しました。

**問** 子育てに関しては部門に関係なく住民の十分なコンセンサスを。答▶縦割り行政の弊害に陥らなく、十分説明し、理解と協力を得ることは行政の当然の責務です。



### 障害者・児の人権と生活守れ

早急に前向きに検討

高瀬憲一議員

**問** 7月1日からの福祉医療制度改悪にもない、障害基礎年金のみで生活を支え医療を受けておられる障害者にとって、一割負担を含む改悪は、高度な治療と複合的診療を要する重度障害者にとって死活問題である。「障害者・児が大切にされる社会はみんなを大切に

する社会である」市は支援施策を早急に実施されることを願ってやまない。

**答**▶市の行革として取り組むものではありません。今後内部研究を行います。

#### 行政改革の問題について

**問** 市職員の退職勧奨は適正な職員の将来的配置と長期的配分をしながらゆるやかなカーブが望ま



△福祉医療の充実を

れる。急激な押しつけ退職はすべきでない。また、市職員の再任用についても考慮すべきである。周辺住民の心配される支所機能の低下が示され

ているが、周辺地域住民の期待を裏切ることとなるがどうか。  
**答**▶緊急に行財政改革の必要があり、やむをえません。

# 委員会 報告

東広島市の農事  
組合法人「フアー  
ム・U・C・H・I」は、  
水稲の作付けから  
販売まで法人によ  
る一元管理を実施。  
作業は法人の理事  
9人と若い組合員  
3人がオペレータ  
ーとして、作業に  
従事され、「法人



△維持される集落機能

産業建設常任委員会は、  
7月12、13日に東広島市  
と島根県津和野町で農業  
振興および活性化に関す  
る調査を実施しました。  
調査した2例は、いず  
れも少子高齢化が進み、  
集落機能の維持が極めて  
困難な集落であり、農事  
組合法人を組織して、集  
落一元の農業経営が行わ  
れている事例でした。

## 法人化で農業を維持

化によるコスト削減と楽  
しい農業をめざす」こと  
が活動の方針でした。  
津和野町の農事組合法  
人おくがの村」は昭和62  
年に発足。集落の9割が  
法人に加入し、機械の共  
同化でコストの低減が図  
られていました。農業を  
維持することは、集落を  
維持することであり、お  
年寄りにも元気に仕事を  
してもらおう仕組みづく  
りがされていきました。

## 総務常任委員会

### 大芝生グラウンドを視察

総務常任委員会では、  
7月13日に滋賀県高島市  
の大芝生グラウンドを視  
察してきました。

この調査は、現在委員  
会に付託されています。大  
芝生グラウンド実現に向  
けて」の請願に対するも  
のです。高島市朽木にあ  
る(財)朽木むらおこし公  
社が運営する「グリーン  
パーク想い出の森」を訪  
問し、天然芝16ホールの  
グラウンド・ゴルフ場を  
調査しました。



△(財)朽木むらおこし公社  
のグラウンド・ゴルフ場

高島市は「グリーンパ  
ーク想い出の森」の指定  
管理者に(財)朽木むらお  
こし公社を指定し管理運  
営をまかせています。宿  
泊施設としてホテルタイ  
プの山荘やバンガロー、  
温泉施設としてくつき温  
泉「てんくう」。スポー  
ツ施設として体育館、テ  
ニスコート、グラウンド・  
ゴルフ場、多目的グラウ  
ンド、プール、会議室、  
炭火焼きガーデン(バー  
ベキューハウス)などを  
備えた立派な総合施設で  
した。

週末はファミリーの利  
用が多く、施設全体では  
4億円から5億円の収入  
があります。市へは利用  
料として2500万円、  
入湯税として2300万  
円を納め、現在では約3  
000万円の黒字となっ  
ています。  
今後も、職員の対応を  
大切にリピーターが増え  
るように努めていくこと  
です。  
委員会では、これを参  
考に検討を重ねていきま  
す。

## 幼保一体化を研修

次に、7月14日大阪狭  
山市の「幼・保一元化特  
区」を研修しました。  
同市では、第一段階の  
取り組みとして、平成16  
年10月に幼・保一体化施  
設を開設し、幼稚園児と  
保育園児が同じ施設内で  
過ごすことを可能にしま  
した。規制の特例措置の  
適用を受けることにより、  
幼稚園児と保育園児の合  
同活動を行い、一体的な  
運営を実践し、研究され  
ています。本格的な幼・  
保一元化施設に移行して  
いく平成18年4月に向け  
て、0〜5歳児が同一施  
設で一貫した保育ができ  
るように施設の整備を進  
められていました。  
少子化が進む丹波市に  
おいても、早急な検討が  
必要です。



△早急な検討を要する幼保一元化

\*一体化とは、幼稚園  
の施設で一部保育所  
の保育事業を行うこ  
とです。  
\*一元化とは、同一の  
敷地内で幼稚園と保  
育所を併せ持つ施設  
として整備し、カリ  
キュラムやクラス編  
成についても区別し  
ないで行っていくこ  
とです。

## 産業建設常任委員会

## 民生常任委員会

第2回定例会終了後の  
民生常任委員会は4月20  
日、5月23日、6月1日、  
6月15日、6月17日に開  
催、請願及び第3回臨時  
議会の付託議案の審議を  
行いました。

### 【請願】

かねてから継続となっ  
ていた「自動車解体工場  
建設に関する請願書」に  
ついては、許可権限が県  
にあること、関係法令お  
よび条例に基づく許認可  
手続きがすでに完了して  
いることなどの意見が多  
数を占め、賛成少数によ  
り不採択としました。  
なお、県知事宛「意見  
書」を提出するよう本会  
議に上程しました。  
(本会議模様参照)

### 【付託議案】

臨時議会より付託され  
た「丹波市国民健康保険

条例の制定について」は、  
算出方法、旧町間の格差  
収納率、基金の取り崩し  
など熱心に審議されまし  
たが、全員の賛成により  
原案どおり可決しました。  
「丹波市福祉医療費助  
成条例の一部を改正する  
条例」は、結果的に弱者  
へのしわ寄せ、子供、乳  
幼児への負担が大きく、  
人口増に反する、近隣市

町と差があるなど厳しい  
意見が出、紛糾しました。  
最終的に市長の「今後  
行革委、総合計画の中で  
も明らかにし、市として  
独自に検討を進めたい」  
との発言により、採決の  
結果賛成多数で可決しま  
した。  
これら付託議案2件は  
本会議で委員長報告され  
ました。



## 住民福祉の「質」は政策で

行政改革検討委員会委員  
安達 眞治

**私**は丹波市の行政改革検討委員会委員の公募に応募し選考されました。

日ごろ、自治体と住民をつなぐものが政策であると考えています。それゆえ、住民の福祉の質や環境は、政策の良し悪しに左右されることになると思います。

このたび、行政改革検討委員会委員として、政策の策定、決定、執行、評価という一連の政策過程の一部を概観し、参画していきたいと思います。

特に、問題にしたいのは、政策に対する実行の可能性であります。自治体活動の多くは、法令に根拠が置かれ、その多くが議員立法、行政立法、行政内規により執行されるとするならば、自治体における政策法務のパラダイムの中で、行政改革検討委員会決定できる事項を重点に成果を示さなくてはならないと考えています。



△市民が主人公の市政を（ゴミ問題は一人ひとりの課題）

## ゴミ処理施設は市民一人ひとりの課題

廃棄物処理施設整備計画策定委員会  
柳川瀬 義輝

**新**市発足後の行政運営も、助走から本格走法への段階に入ったようです。各種のプロジェクトも市長の諮問を受け、それぞれの委員会などで検討が進められています。

合併による効果が見えてくるまでには相当の時間がかかるでしょう。こんな中で、市民の命に関わる救急医療体制の確立や、市民の日々の生活に関わるゴミ処理施設の建設などは、市の重要課題として早急に実現していかなければなりません。

廃棄物処理施設整備検討委員会としては、市の課題実現に向け、処理方式の検討、建設用地選定の検討、財源の確保など合併協議会での議論も踏まえながら協議を進めていくことにしています。

旧町には、それぞれ施設を持っていますが、いずれ耐用年数がかかることを考え、10年先、20年先を見据え、丹波市が一体となってこの問題に取り組んでいくことが必要であり、同時に市民の理解と協力が何よりも大切であると考えています。

# 市民の投稿



## 編集後記

日本列島も空梅雨と台風の両極端「異常気象と環境」を痛感させるを得ません。どうか適度な恵みの雨となつてほしいものです。

今回の「たんばりんぐ」は臨時定例議会とも市民生活に一番関係する審議模様を中心となりました。一般質問を含め議員それぞれ努力の様子をご覧ください。

今回で3号となります。少しは読みやすくなったでしょうか。ご意見をお聞かせください。

## 表紙説明

「丹波太郎」は当地方に発生する大きな雷のことです。稲や農作物を育て実りの秋をもたらすとされています。「有機の里(ちしま)の契約生産者が新鮮な野菜、加工品卵のほか、地元のおみやげ特産品が産直販売されています。

「米っ粉工房」では米粉使用のうどん、らーめん、いろいろなケーキパン、食パンが人気を呼んでいます。

また、商工青年部が開発した乾麺「ほのかちゃん」も贈答品などに喜ばれ、販路が拡大しています。

